

#912 第46回 APAN 会議 ラテンアメリカ  
(第16回 ラテンアメリカテレカンファレンス)

2018.08.08

<p>【イベント名】 第46回 APAN 会議 ラテンアメリカ(第16回 ラテンアメリカテレカンファレンス)</p>	<p>【概要】 本テレカンファレンスはニュージーランドでのAPAN会議中に開催された。胃がんおよび食道がんの診断が遅れた場合、緩和ケアが非常に大切である。ブラジルのDr. Arantesは確立された新しい内視鏡緩和療法について、チリのDr. Orellanaは超音波内視鏡を利用する新しい選択肢を、日本のDr. 鶴丸は画像下治療や放射線療法を提示した。異なる施設の参加者たちはプレゼンターと対話することができ充実した議論となった。</p>
<p>【期日】 2018.08.08</p>	
<p>【会場】 グランド ミレニアム オークランド (ニュージーランド), アレマナ病院 (チリ), コスタ・リカ大学 (コスタリカ), コスタリカ ガストロクリニカ (コスタリカ), メキシコ国立医学・栄養センター (メキシコ), シャープマサトラン病院 (メキシコ), フライ アントニオ アルカルデ市民病院 (メキシコ), サンパウロ大学 (ブラジル), ブラジル癌研究所 (ブラジル), ミナスジェライス連邦大学 (ブラジル), セルジペ連邦大学(FUS) (ブラジル), 大阪国際がんセンター (日本), 九州大学病院 (日本)</p>	



アレマナ病院の様子。

撮影場所：アレマナ病院



スクリーンに映し出される接続施設。

撮影場所：グランド ミレニアム オークランド



大阪国際がんセンターの様子。

撮影場所：大阪国際がんセンター



提示されたスライド。

撮影場所：グランド ミレニアム オークランド



九州大学病院から発表するDr. 鶴丸 (左)。

撮影場所：九州大学病院



サンパウロ大学の様子。

撮影場所：サンパウロ大学